

平成23年度 東京都優秀技能者(東京マイスター)知事賞表彰者一覧

平成23年度表彰者一覧

被贈呈者数: 40名(男性: 36名、女性4名)、平均年齢: 61.5歳(最年長82歳、最年少43歳)

職種	表彰者氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
金属熱処理工	文珠川 拓実 株式会社 上島熱処理工業所	もんじゅがわ たくみ	男	43	工具鋼を中心とした塩浴熱処理に優れ、その技能向上に努めた。厳密な硬さの調整を必要とする高速度工具鋼や合金工具鋼の焼もどし作業に多くの工夫を加えることで安定した熱処理を可能にした。また、品質向上、生産性及び安全性の向上にも貢献した。
板金工	對馬 慶二 日野自動車 株式会社	つしま けいじ	男	59	試作車の板金部品製作からボデー組立にかけて必要な技術・技能全般に精通しており、優れた技能を有している。特に、手板金による平板から三次元形状打出し板金作業において卓越した技能を持ち、時代の変化に対応する新たな技術の習得・普及や工法の考案にも貢献した。また、中央技能検定委員、東京都技能検定委員としてその運営に携わり、後進技能士の指導育成に尽力している。
金属原型彫刻工	坂本 国雄 サカモト彫刻	さかもと くにお	男	55	メダル、徽章、バックル等の原型となる金型の金属彫刻を手彫りする技術に優れ、柔道大会のメダル等の社会的にも重要なものを作成している。現在では希少な手彫り技術者であるが、海外ブランドも手掛けるなど、世界的に活躍している。また、新宿ものづくりマイスター「技の名匠」にも認定されている。
金型取付工	大久保 賢司 株式会社ナカザ	おおくぼ けんじ	男	73	深絞り加工における長年の経験、優れた技術を有しており、携帯電話に使用されるステンレス製電池ケースを小型軽量化するなど、さまざまな工業製品の部品を製作してきた。最近では、自動車用燃料電池部品や加工が困難な八角形形状の筐体(きょうたい)を製作した。
しんせんこう 漫染工	宇佐美 隆三 宇佐美捨染工所	うさみ りゅうぞう	男	63	東京無地染の製造に40年従事して培った知識・技能を継承しており、色彩感覚を活かした、防染による模様表現、絞りを施した生地染色に優れている。また、その色を構成している明度、彩度、色合いを見極め、受注者の指定した見本の色と同じ色に染め上げることが可能である。
友禅染工	土田 英彦 工房・英	つちだ ひでひこ	男	75	東京友禅染に長年従事し培った幅広い知識と技能を有しているほか、独特な西洋風の絵柄・デザインを作成することができる。また、独創性に富む絵柄は、「絵」としても高い評価を得ており、東京友禅を額入りの作品とした第一人者でもある。
染色用型紙彫刻工	矢田 幸蔵 矢田型紙店	やだ こうぞう	男	56	緻密な図案を染め・仕立てなど仕上がりも見極めながら正確に彫り進める技術は逸品である。重要無形文化財保持者の小紋の染め師の型紙も手掛けるほどの技能を有する。また、型紙を染色だけでなく額に入れインテリアとしても飾れるような図案も彫り、型紙を身近なものにしている。
手刺しゅう工	服部 元明 服部刺繍店	はっとり もとあき	男	70	半世紀以上、伝統工芸品である「江戸刺繍」製作に従事し、豊富な知識と優れた技能をもって繊細でありながら重厚感も併せ持つ刺繍を生み出す。全国から高い評価を受けているが、競馬の優勝レイなど新たな分野も手がけ、日本刺繍業界の発展に寄与した。
和服仕立職	上野 洋 有限会社 上野裁縫所	うえの ひろし	男	47	明治43年創業の仕立専門店4代目として豊富な知識と優れた技能を有し、全国和裁技術コンクールで金賞も受賞している。また、縫製だけでなく、裁断の理論付けや飛び柄、格子柄、横段等の小紋の裁断技術に磨きをかけており、業界随一の技量を合わせ持った技能士である。
和服仕立職	時田 琴美 時田和裁 技術学園	ときた ことみ	女	69	長年の経験により培われた秀でた和裁技能を持つとともに、入門者が理解しやすい指導技法を考案することで技能伝承に尽力している。また、つぼ折りコートや変り衿(深川衿)両面コートの、過去に類を見ない着やすい仕立を考案するなど、常に創意工夫を凝らしている。

職種	表彰者氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
左官	大久保 雅一 株式会社 あじま左官工芸	おおくぼ まさいち	男	79	鏝絵(こてえ)に長年従事し、鏝絵に関して幅広い知識・技能を身につけ、重要文化財等の漆喰彫刻も手がけるなど、施工実績も数多い。鏝絵の将来を憂い、西洋的工法を融合しながら独自の新技法を考案するなど、アイデアにも富んでおり、その作品は高く評価されている。
さしものしよく 指物職	渡辺 光 渡辺指物	わたなべ ひかる	男	62	江戸指物(えどさしもの)のホゾ組技法すべてに熟達しており、特に、留型隠蟻組接(とめがたかくしありくみつぎ)の技能については、業界の第一人者と言われている。また、きわめて優れた江戸指物を製作・出品するなどして、全国規模・東京都等の各展示会での技能水準の向上にも寄与した。
きぼりこう おみこし 木彫工(御神輿)	市川 秀樹 市川木彫刻所	いちかわ ひでき	男	64	伝統ある神輿彫刻に長年携わり、その優れた技能は業界の第一人者として認められている。特に、飾獅子や欄間の製作技法を得意としている。また、文化財等の修理修復にも貢献するなど、神輿の普及にも寄与した。
もくはんがほりし 木版画彫師	朝香 元晴 匠版画工房 ふれあい館	あさか もとはる	男	60	精緻な技、繊細な神経と高度な技術を駆使し、浮世絵木版画や現代版画を多数手がけている。東京国立博物館所蔵の国宝を史上初めて正式認可を得て復刻させた経験も有する。その卓越した高度な技術は、後進技術者にも多大な影響を及ぼしており、継承活動にも力を注いでいる。
かわぐつ製造工	矢口 昇 有限会社 シャポージャパン	やぐち のぼる	男	70	婦人靴の底付技能に長年の実績を有する。底付に必要なつり込み技術の習得と、靴型の骨格構造に対する研究開発への取組により、外形の綺麗さもさることながら、立ち易く・歩きやすい・疲れにくい、足を包み込む“履きやすい靴”を提供している。
あめ・キャン ディー 製造工	菊地 一男 宮川製菓 株式会社	きくち かずお	男	62	キャンディーの仕込、混合、成型工程をはじめとする一連の飴菓子製造工程に精通している。また、製造ライン及び包装機械の設計・組立までも自ら手がける。昔ながらの駄菓子を蘇らせた「きなこ飴」を2009年に開発し、飴菓子として初めてモンドセレクションを受賞した。
理容師	加納 耕助 有限会社 髪切虫	かのう こうすけ	男	59	理容師として優秀な技能を有し、縮毛を矯正したいという消費者のニーズに応えるべく、その技術開発と理論の確立に尽力した。特に、コテ(ヘアアイロン)を利用した熱処理による縮毛矯正技能の確立は、業界においても極めて高く評価されている。
美容師	高橋 正将 株式会社 MINXworld	たかはし まさとも	男	55	美容業界において長年課題とされてきた、カットテクニックの解説方法の不統一性を解決させ、業界に多大な貢献をした。カットテクニックを体系的に分類整理することで法則性を見出し、カット指導方法を確立、指導テキストも手がけた。国内外に普及している指導方法は高く評価されている。
美容師	福島 吉功 ヘアブティック FAME	ふくしま よしのり	男	60	カット、パーマ、カラーなど美容全般における技術に精通しており、新技術開発や製品改良に努めた。流行を捉える感覚にも優れ、ニューヘアファッションの創作・発表やその普及にも尽力した上、秀でた指導方法により後進を育成し、美容業界に偉大な功績を残している。
衣装着付師	高岡 トヨ 有限会社 スタジオ	たかおか とよ	女	82	60年の長きにわたり身につけた着付け・ヘアメイクの総合美で、世界各国の人々を魅了してきた。日本国内にパーマ技術を定着させたほか、着付けが技能検定種目となるよう働きかけも行った。また、長時間着けていても疲れにくい着付けなど、創造性に富む技能も考案した。

職種	表彰者氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
日本料理調理人	井田 信幸 浅草懐石 瓢庵	いた のぶゆき	男	63	伝統的な日本料理の技能に基づきながらも、洋種も含めた多様な素材を取り入れた、現代的な会席料理については、業界における第一人者と言われる。また、色彩表現、器使い、盛付の技能にも優れており、日本料理技能の向上・普及にも多大な貢献をした。
日本料理調理人	上原 清 東京ベルエポック 製菓調理専門学校	うえはら きよし	男	64	調理技術の研鑽に長年努めた、日本料理一筋の料理人である。日本料理の土台となった精進料理の真髄を究めたことにより、今では時代にマッチした創作料理、新会席料理、大量調理まで手がける技能者である。特に、日本料理にマッチした和風ソースを取り入れるなど、先駆者的役割も果たしている。
西洋料理調理人	柘植 末利 東京調理師 専門学校	つげ すえとし	男	64	西洋料理の知識・技能に優れており、数々の晩餐会や接遇を総料理長として務めてきた。海外での修行により習得した西洋調理技術を日本に定着させ、また、調理方法の改善に努めるなど、業界の発展にも寄与した。後進の育成にも多大な貢献をした。
西洋料理調理人	森 道雄 株式会社 ロイヤル パークホテル	もり みちお	男	62	西洋料理調理人として、古典料理と現代仏料理との融合発展に多大な貢献をした。また、大量調理における真空調理法を進化させたほか、各国料理フェアを毎年開催することで技能継承に努めるなど、日本の仏料理界の発展にも寄与している。
中華料理調理人	安川 哲二 中国四川料理 龍の子	やすかわ てつじ	男	63	中国四川料理の調理技能全般に通暁している。特に本場四川料理独自の調味料を使用する調理では第一人者と言われ、日本人好みに配合し、食材を組み合わせる技能に優れている。また、伝統的な四川料理と現代的な技術を融合させた新たな料理も手がけている。
ソムリエ	佐藤 陽一 有限会社 マクシヴァン	さとう よういち	男	48	「第4回全日本最優秀ソムリエコンクール」優勝、「第12回世界最優秀ソムリエコンクール」日本代表など、多数の功績をもつ。また、ワインの外観からブドウの品種、原産地、収穫年を正確に特定し、お客様に最適なワインを提供することができる。各種講習や著書により後進の育成にも尽力している。
かくるいうちばりこう 家具類内張工	小林 重行 有限会社 立花製作所	こばやし しげゆき	男	45	長きにわたり椅子張り技能の研鑽に努め、豊富な知識と洗練された技能を持っている。官公庁・ホテル・一般企業・一般家庭の椅子、ソファ、マットを数多く手がけ、常に業界をリードしている。また、新しい時代のニーズにこたえ、技術革新、新製品開発にも尽力した。
ひょうくし 表具師	春原 敏雄 春原表具店	すのはら としお	男	64	伝統的な表具技能に、現代的美的感覚を取り入れた極めて優れた製品を多数手がけてきた。その精緻な製品は多年の研鑽努力によるもので、業界外からも衆望を集める。軸先の寸法を正確に測定できる定規を考案するなど、業界の発展にも尽力した。
金属塗装工	小庄司 文孝 キャノン株式会社 下丸子事業所	こしょうじ ふみたか	男	47	手吹塗装による精密機器部品の表面処理仕上げ加工に精通している。カメラやレンズなどの新製品具現化の先駆者として多大な貢献をした。特に、マグネシウム焼付け塗装技術を確立し、新製品開発を行った業績は、品質向上や試作革新に多大な貢献をもたらした。
たみこう 畳工	小宮 太郎 小宮畳店	こみや たろう	男	57	日本の伝統文化である畳作りを、初代の祖父及び父より引継ぎ、有職畳作りの分野において多数の実績を残してきた。皇居や神社仏閣の畳製作も多く手がけており、その熟練された技術は高く評価されている。また、従来の素材にとらわれず、現在の住宅環境に適した畳の製作にも積極的に取り組んでいる。

職種	表彰者氏名及び所属名	ふりがな	性別	年齢	技能・功績の概要
和楽器組立工	竹内 康雄 竹うち三味線店	たけうち やすお	男	80	60年にわたり三味線製作職人として精進し続け、伝統的かつ希少な手作りによる技法で三味線製作を行ってきた。長年、重要無形文化財である宮園節(みやそのぶし)を支え、また、人間国宝の方々と共に日本古典音楽に多大な貢献をした。一方、西洋のクラシックなど西洋音楽の視点を取り入れた製作も行い、業界でも高く評価されている。
まきえし 蒔絵師	稲元 宣行 稲元蒔絵工房	いなもと のぶゆき	男	52	江戸時代より継承された蒔絵の若手第一人者として活躍している。宮内庁をはじめ国会議事堂内の紋章製作に携わるなど、卓越した技術を保持している。特に、蒔絵、平蒔絵、高蒔絵、研ぎだし蒔絵の製作に優れ、複数の技能を組み合わせることで多様な表現をすることができる。
貴金属細工加工工	坂元 勝彦 PANDESIGN	さかもと かつひこ	男	57	貴金属製作作業のマイクロ単位の原型作業に独特の工夫、技術を持ち、特に小物製作細密加工においては第一人者と言われる。デザイン表現力に優れ、組立て及び原型加工細工寄せ仕上げでは最高の技術も持つ。コンテストにも多数入賞しており、後進技能者の育成にも尽力している。
貴金属細工加工工	柴田 智之 独立行政法人 造幣局東京支局	しばた ともゆき	男	48	製造工程の一部である仕上工程に従事し、ヤスリ・キサゲ・ロウ付け・組立作業等に熟練した技能を有する。日々技術の研鑽、知識の習得に努めながら、優れた技量を発揮して、重厚で品格ある勲章等の製造に尽力している。また、生産性及び作業効率の向上に大きく寄与した。
角・きば類細工工	櫻井 實 櫻井牙彫製作所	さくらい みのる	男	76	牙彫の分野においては、置物から根付アクセサリーとあらゆる分野に精通しており、その技術は一級の評価を得ている。特に、手彫りによる能面製作技能、毛描きの手法は秀でている。従業員を指導育成し、彫刻家として独立させているほか、象牙の輸入にも多大な貢献をした。
印章彫刻工	増澤 かな 慶文堂	ますざわ かな	女	46	印章彫刻の手彫り作業に長年従事し、優秀な技能を有しているが、ゴム印彫刻技術は特に秀でている。また、精緻な図案と洗練された文字及びデザインは独自性に優れ、観光名所の記念スタンプにも採用されている。常用漢字が追加されたことに伴い、それらを網羅した新常用漢字印章字林の編纂にも尽力した。
竹すだれ製造工	田中 耕太郎 株式会社 田中製簾所	たなか こうたろう	男	48	職人として竹割り・編み・仕上げの屈指の技術を持ち、多くの素材と技法を駆使して優れた江戸簾の製造にあたりるとともに、伝統工芸産業発展のための様々な活動に従事している。また、社内外で伝統の技術技法の伝承にも尽力しながら、新しい材料の開発やデザイン性の優れた現代的なすだれを製作し、高い評価を得ている。
フラワー装飾師	堀合 勝子 フローラル アートスクール	ほりあい かつこ	女	66	フラワー装飾技能作業に長年従事し、デザインをさまざまな角度から見つめ実践かつ研究してきた。特に、ブーケを正確かつ美しく仕上げる技法を考案し、高い評価を得ている。国内外でデモンストレーションを行うなど、普及活動に積極的に取り組み、後進の指導・育成にも貢献した。
クリーニング工	矢口 正昭 三ツ矢 クリーニング	やぐち まさあき	男	76	長年にわたり、都民生活の衛生水準を維持向上するため、クリーニング業を営むかたわら、クリーニング処理知識の習得と技能の研鑽に努めた。特に、近年の多種多様な衣料素材を適切に洗うため、繊維製品に関する新たな知識の吸収に努めた。また、後進技能者の指導・育成にも貢献した。
あらいはりこう 洗張工	戸塚 建三 有限会社 阪田屋	とつか けんぞう	男	72	長年の経験で培った着物に関する洗張りの技能に優れており、業界の第一人者である。特に、着物解き、はぬい、洗いのり入れ、伸子張りに精通している。また、着物を洗う作業では、生活習慣の変化により現代の新たな汚れ・付着物を除去するため、独自の工夫・研究を重ねた。